

日本蜘蛛学会第 54 回大会

会期：2022 年 8 月 20 日（土）・21 日（日）

会場：名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟（桜山キャンパス）
（〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄 1）

日 程

8 月 20 日（土）

受付	9:00～
開会	9:50
一般公演（学生発表賞対象）	10:00～11:15
ショートプレゼン	11:15～11:45
昼食	11:45～13:00
一般講演	13:00～15:00
シンポジウム	15:00～17:20
写真撮影	17:20～17:25
総会	17:30～18:45

8 月 21 日（日）

受付	9:00～
一般講演	9:30～11:45
閉会	11:50

- 役員会（編集委員会、評議員会、自然保護委員会） オンライン開催

大会案内

●受付

- ・受付は会場付近（医学部研究棟 11 階エレベータ先）に設置します。
- ・参加は会員で事前申込者に限ります。当日参加はできません。
- ・受付で大会参加費（一般 3,000 円，学生 2,000 円）をお支払ください。名札はありません。

●一般講演（口頭発表）

- ・講演時間は発表 12 分，質疑応答 3 分の計 15 分です。10 分で 1 鈴，12 分で 2 鈴，15 分で 3 鈴を鳴らします。
- ・PowerPoint ファイルを USB メモリに入れてお持ちいただき，会場内の映写用パソコンにコピーして，文字化け等がないか事前にチェックしてください。
- ・発表時の PowerPoint 映写は発表者ご自身で操作してください。
- ・講演の座長は、事務局であらかじめ設定しました。

●シンポジウム

- ・講演時間は発表 30 分または 20 分です。質疑応答は、総合討論の時間に行います。講演終了の 5 分前に 1 回，終了時刻に 2 回ベルを鳴らします。また，冒頭に企画者趣旨説明 10 分、全講演後に 2 名のコメント各 5 分および総合討論 20 分とします。

●懇親会

- ・懇親会はありません。

●屋食

- ・ 持参いただくか、周辺のコンビニ等をご利用ください。休憩室で飲食可能です。

●禁煙

- ・ **キャンパス内および周辺道路は全面禁煙**です。

●文献

- ・ 大学の規定により、学内での物品販売はできません。見本や無料の資料を置く程度は構いませんが、非公式な物品紹介や個人レベルでの売買とし、事務局は関与しません。詳細は、大会事務局にお問い合わせください。

●宿泊

- ・ 宿泊の斡旋は行いません。各自でご予約をお願いします。ホテルは久屋大通駅付近などに多数あります。

●駐車場

- ・ 駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

●名古屋市立大学桜山キャンパスへの交通

- ・ 詳細は、学会大会のサイト (<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/~nory/arach46/>) をご覧ください。

- ・ 名古屋駅(※) から、地下鉄桜通線(徳重行き)で約16分「桜山」下車、3番出口すぐ。

※ 名古屋駅新幹線改札口を出てすぐに、桜通線への階段があり便利です。

- ・ 地下鉄「桜山」3番出口から会場の「医学部研究棟」へは、下図の青線の経路(キャンパス外壁を周回し、正門から正面)が分かりやすいです。赤線の経路(キャンパス内)の場合は短距離ですが、建物の間の狭い通路を通ります。



◆ 8月20日（土）

9:00 受付開始・開場

9:50 開 会

●学生発表賞対象講演

座長：村田浩平

- 10:00 O-1 ○新谷花梨・廣田忠雄（山形大院・理工）
ズグロオニグモは「飛んで火にいる夏の虫」を狙うのか？
- 10:15 O-2 ○上田悠史郎・矢澤健二郎（信州大院・総合理工・繊維学専攻）
クモ糸の紫外線耐性に関する研究
- 10:30 O-3 ○山本フィリップ^{1,2}・岩井碩慶²・富田勝²・河野暢明²（¹慶大・環境情報、²慶大・先端生命）
クモ篩板糸用途解明に向けた *Dictyna felis* の網プロテオーム解析のための溶媒と溶解法の検討
- 10:45 O-4 ○澁谷光・村田浩平・佐々木快（東海大院）
阿蘇地域の草地におけるマダニおよびヤマビル¹の生息状況
- 11:00 O-5 ○開澤菜月・中村剛之・山内健生（帯畜大、弘前大・白神研究セ、帯畜大）
北海道の積雪下で活動するムカデ類とヤスデ類

●ショートプレゼンテーション

座長：山崎健史

- 11:15 SP-1 ○片山詔久・近藤亘（名市大院・理）
横糸や粘球の分子構造と化学成分
- 11:20 SP-2 ○渡部康羽¹・中村浩之^{1,2}・荒川和晴¹（¹慶大・先端生命、²Spiber株式会社）
イソカニムシ糸の分子組成解析
- 11:25 SP-3 ○中川恒^{1,2}・藤本悠人^{1,2}・山本フィリップ^{1,2}・河野暢明²（¹慶大・環境情報、²慶大・先端生命）
クモのデザイン性に関する多角的な視座
- 11:30 SP-4 ○工藤真由美^{1,2}・高須賀圭三^{2,3}・荒川和晴^{2,3}（¹鶴岡北高校、²慶大・先端生命、³慶大院・政策メディア）
ホコリダニのオスが稀にメスではなくオスの静止期幼虫を運搬する事象の研究
- 11:35 SP-5 関根幹夫（〔奈良県三郷町〕）
「家蜘蛛」とはどんなクモか？
- 11:40 SP-6 ○原口岳¹・谷川明男²（¹大阪環農水研・多様性、²東大・農）
生物多様性データベースへの登録・活用に向けた日本産クモ類目録の整然データ化

11:45～13:00 昼 食

●一般講演（口頭発表）

座長：田中幸一

- 13:00 O-6 奥村賢一（国立科学博物館・動物研究部）
皇居でのクモ類調査経過報告
- 13:15 O-7 谷川明男（東大・農）
奄美諸島産カワリアシダカグモ属
- 13:30 O-8 ○Kiyon Sorgog・片山直樹・大久保悟・馬場友希（農研機構）
湿地再生地におけるクモ・イネ害虫相の特徴と周囲農地への供給効果の検証
- 13:45 O-9 ○村田浩平¹・佐々木快¹・澁谷光¹・岩崎洋一郎²・天野弘基³
（¹東海大院、²〔熊本市〕、³東海大・文理）
阿蘇カルデラの地形形成と巨大地震がキムラグモ類の生息地に及ぼす影響

座長：加村隆英

- 14:00 O-10 ○松木伸浩¹・吉岡明良²・田渕研³・遠藤わか菜⁴・三田村敏正⁵
（¹福島農総セ・会津研、²国環研・福島拠点、³農研機構・東北農研、⁴福島県北農林、⁵福島農総セ・浜研）
原子力災害に伴う営農中断が水田におけるアシナガグモ類の生息に及ぼす影響
- 14:15 O-11 ○井原庸・菅原優介・中野隆文（京大院・理）
九州北西部および周辺の島に分布する中型ナミハグモの地理的分化と交尾栓の進化
- 14:30 O-12 山崎健史^{1,2}（¹兵庫県立大、²兵庫県博）
蘭嶼で採集されたヤイトムシ目の1種について
- 14:45 O-13 河野暢明（慶應大・先端生命）
ギガスケールのクモゲノム解析に向けたあれこれ

●シンポジウム 「生物の分布情報の収集と活用：クモ類の現状、課題、挑戦」

- 15:00 趣旨説明 企画者：宮下直（東京大学）
- 15:10 S-1 藤田卓（日本自然保護協会）
市民調査で日本全国の里山の生物多様性を把握する～モニタリングサイト 1000 里地調査の挑戦
- 15:40 S-2 近藤倫生（東北大学）
生物多様性観測網と情報基盤を作る：ANEMONEの取り組み
- 16:10 S-3 ○谷川明男（東京大学）・新海明（〔八王子市〕）
CD日本のクモ ―老兵は死なず―
- 16:30 S-4 須黒達巳（慶應義塾幼稚舎）
学校にいるクモ、いないクモ
- 16:50 コメント・総合討論 コメンテータ：馬場友希（農研機構）、山崎健史（兵庫県立大学）

17:20～18:45 写真撮影、総会、学生発表賞表彰、次回開催地紹介

◆ 8月21日（日）

9:00 受付開始・開場

●一般講演（口頭発表）

座長：高須賀圭三

9:30 O-14 桑田（楠瀬）隆生（日大・松戸歯）

ワスレナグモ雄の成長過程について

9:45 O-15 中田兼介（京都女子大）

ギンメッキゴミグモメスは本当に配偶者選択しないのか？

10:00 O-16 ○馬場友希・谷川明男・中田兼介（農研機構、東大・農、京都女子大）

ゴミグモ属内における複数の行動形質の多様化プロセス

10:15 O-17 ○鈴木佑弥¹・平松毅久²・立田晴記¹（¹九大院・システム生命、²〔川越市〕）

日本産カラカラグモ類における逃避行動の多様性

座長：谷川明男

10:30 O-18 高谷昌志（〔名古屋市〕）

白帯誕生の理由を、円網の欠陥から考える

10:45 O-19 新海明（〔八王子市〕）

網構造と造網行動から見た円網多様化に関する仮説

11:00 O-20 ○野口奨悟・立田晴記（九大院・生態科学）

ボカシミジグモにおける餌盗み行動の観察

11:15 O-21 ○高須賀圭三^{1,2}・平山明由^{1,2}・曾我朋義^{1,2}・河野暢明^{1,2}・荒川和晴^{1,2}
—(¹慶大・先端生命、²慶大院・政策メディア)—

メタボローム解析を用いたクモヒメバチによる網操作の責任物質探索

11:15 O-22 ○中村浩之^{1,2,3}・河野暢明^{1,2}・森大^{1,2}・沼田圭司^{4,5}・荒川和晴^{1,2}
(¹慶大・先端生命、²慶大院・政策メディア、³Spiber 株式会社、⁴京大院・工、⁵理化学研究所・環境資源科学)

Minor ampullate silk の分取及び再構成による機能解析

11:30 閉会の辞

11:35 閉会